地政学：米国と中国のはざまで：ジュネーブ、香港およびドバイとの比較

Dr Alexander Ressos, TEP
Attorney-at-Law (Switzerland and Germany),
Solicitor (England & Wales and Hong Kong)
Of Counsel, KGP Legal LLC
alexander.ressos@kgplegal.com.sg
www.ressos.com.sg

ジュネーブ：制裁によって試された中立

スイスは2022年に同じ選択に直面し、より断固とした形でそれに答えを出しました。2022年2月28日、連邦参事会は臨時会合において欧州連合の対ロシア制裁を採用することを決定し、2022年3月4日の命令がその詳細を定めました。[1] 2024年8月までに、スイスで凍結されたロシア資産の額は71億フランに達し、さらに13億フランが暫定的に凍結されていました。2025年4月1日までに、凍結資産は74億フランに増加しました。[2] ジュネーブのコモディティ・トレーダーは最も大きな影響を受けた者の一つであり、ロシアとの取引の一部はドバイへと移りました。[3]

スイスの決定は、欧州におけるスイスの位置から導かれたものでした。スイスの経済、銀行および法秩序は欧州連合のそれと密接に結び付いており、欧州の制裁に従うことを拒めば、スイスは孤立していたでしょう。シ

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

ンガポールの立場は異なります。シンガポールの属する地域には、欧州連合に匹敵するブロックは存在しません。最も重要な近隣諸国も、中国やインドも、ロシアに制裁を科しませんでした。シンガポールの措置はスイスのそれよりも限定的でしたが、他のどの東南アジア諸国の措置よりも踏み込んだものでした。いずれの場合も、国際秩序の根本的なルールが問われたとき、大国から距離を置くという伝統は譲歩を余儀なくされたのです。

香港：一方の陣営の内側にある都市

金融センターとしてシンガポールに最も近いライバルである香港は、大国間の対立からより直接的な影響を受けてきました。全国人民代表大会常務委員会が採択した国家安全維持法は、可決された当日である2020年6月30日に施行されました。[4] 米国はこれに対し、米国法における香港の特別な待遇を終了させ、当局者に制裁を科しました。香港は中国の外交政策に従っているため、ロシアに対する制裁には加わりませんでした。国際的な顧客にとってこれは、香港の金融機関が、シンガポールの金融機関が提供できるような北京からの距離を提供できないことを意味します。

香港は依然として手強い強みを持っています。中国への近さ、資本市場の厚み、そして海外上場を目指す中国企業の玄関口としての役割です。それでも、対立における香港の位置付けは明らかです。香港は中国の一部であり、中国がこの都市に関心を持つ理由の一端は、その国際資本へのアクセスにあります。シンガポールは独自の外交政策を持つ独立国家です。分断された世界において、この違いは、両陣営の外にある法域を求める顧客にとって重要です。それはまた、2020年以降の香港からシンガポールへの富と本社の流れの一因を説明するものでもあります。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

ドバイ：非同盟のハブ

ドバイは第三のモデルを示しています。アラブ首長国連邦は西側の対ロシア制裁を採用しておらず、2022年以降、ロシアの実業家、トレーダーおよび資本を歓迎してきました。その金融フリーゾーンはコモン・ローの下で運営され、ロシア、インド、アフリカおよび中東から富を引き寄せています。第H部第IV章で述べる、首長国に拠点を置くトレーダーや企業に対する米国の指定は、この開放性の代償を示しています。

シンガポールは、より狭い道を選びました。それは、すべての国の顧客に対して開かれた存在であり続けつつ、ドバイが受け入れていない制約を受け入れるという道です。2022年のロシアに対する決定と、半導体取引における虚偽申告に対する取締りは、西側の銀行や規制当局が認めるルールへのコミットメントを示しています。ドバイは、シンガポールが断った業務を獲得しました。シンガポールは、ドル決済、西側のコルレス銀行、西側の顧客へのアクセスを確保し続ける評判を守りました。ブロック化した世界において、この評判はシンガポールの最も価値ある資産となるかもしれません。

数字で見る

中国との外交関係樹立：1990年10月3日。米国との自由貿易協定：2003年5月6日署名、2004年1月1日発効。2025年の米国のシンガポール向け財の輸出：416億米ドル、輸入382億米ドル、財の黒字34億米ドル、サービスの黒字295億米ドル。先端半導体に対する米国の輸出管理：2022年10月7日発表。米国の対外投資規則：2025年1月2日発効。シンガポールに対する米国の関税：2025年4月から10%、IEEPA関税は2026年2月20日に違法と判断。シンガポールの対ロシア措置：2022年2月28日発表、2022年3月5日に説明、ロシアの銀行4行を指定。2022年に国外で凍結されたロシア中央銀行の準備資産：約3,000億米ドル。戦略物資（規制）法（Strategic Goods (Control) Act）：2003年1月1日施行、無許可の移転に対する罰金の上限は10

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

万シンガポールドルまたは物品価額の3倍。2025年1月までの会計年度におけるNvidiaの売上高に占めるシンガポールの割合：約18%、これに対しシンガポールに物理的に納入された半導体は約1%。シンガポールにおける人民元クリアリング銀行：ICBC、2013年2月8日指定。2018年6月12日のシンガポール首脳会談：費用1,630万シンガポールドル。

注

1. Ressos, *Genève, place financière internationale*, partie H（スイス連邦および Euronews, 2022年2月28日を引用）：“À sa séance extraordinaire du 28 février 2022, le Conseil fédéral a décidé de reprendre les sanctions de l’UE contre la Russie”。ウクライナ情勢に関連する措置を定める2022年3月4日の命令（RS 946.231.11）。 ↩

2. Ressos, *Genève, place financière internationale*, partie K（SECO, FAQ “Sanctions contre la Russie”を引用）：2024年8月13日時点で、対ロシア制裁に基づきスイスで凍結された資産の額は71億スイスフラン、さらに13億スイスフランが暫定的に凍結。*ibid.*, partie H（SECO（admin.ch、2025年4月1日）を引用）：2025年4月1日時点の凍結資産は74億スイスフラン。 ↩

3. Ressos, *Genève, place financière internationale*, partie K（*swissinfo.ch*, 2025年8月11日を引用）：コモディティ取引の人員のスイスからドバイへの移転について。 ↩

4. Wikipedia, “2020 Hong Kong national security law”（2026年11月最終閲覧）：2020年6月30日に全国人民代表大会常務委員会で可決され、同日施行。 ↩

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

Disclaimer

This article is provided for general information only. It is based on publicly available sources as at its date of publication. These sources have not been independently verified against licences, regulatory registers or the records of the entities concerned. It is not legal, tax, financial or investment advice. Nor is it a recommendation to invest in, transact with or use the services of any entity mentioned. Law and regulation change frequently, so the content may be incomplete or outdated. To the fullest extent permitted by law, Dr Alexander Ressos and the publisher of SingaporeIQ exclude all liability for loss or damage arising from the use of or reliance on this article. Readers should obtain advice on their specific circumstances before acting or refraining from action.

Names and trademarks of the entities discussed belong to their owners and are used for identification only. Their mention implies no endorsement, affiliation or allegation of wrongdoing. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. Corrections and updates: contact@ressos.com.

© 2026 Dr Alexander Ressos. This article may be quoted with attribution to SingaporeIQ (SingaporeIQ.com). Reproduction in full and any commercial use require prior written consent. The Legal Terms at https://singaporeiq.com/legal-terms apply.

Author contact: Dr Alexander Ressos, TEP · contact@ressos.com